

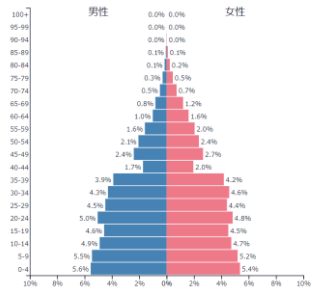


1. 国概要		出典	
正式名	カンボジア王国	①	
国旗	位置図		
		①	
面積	18.1万平方キロメートル(日本の約2分の1弱)	①	
首都	プノンペン	①	
人口	1,692万人 (2020年推定、出所: Central Intelligence Agency)	③ ⑥	
			
民族	人口の90%がカンボジア人(クメール人)とされている。	①	
公用語	カンボジア語	①	
宗教	仏教(一部少数民族はイスラム教)	①	
通貨(為替レート)	1リエル=約0.026円(2020年5月)	⑦	
略史	9~13世紀	現在のアンコール遺跡地方を拠点にインドシナ半島の大部分を支配。	①
	14世紀以降	タイさらにベトナムの攻撃により衰退。	
	1884年	フランス保護領「カンボジア王国」。	
	1953年	カンボジア王国としてフランスから独立。日本と国交樹立。	
	1970年	ロン・ノルら反中親米派、クーデターによりシハヌーク政権打倒。王制を廃しクメール共和制に移行。 親中共产勢力クメール・ルージュ(KR)との間で内戦。	
	1975年	KRが内戦に勝利し、民主カンボジア(ポル・ポト)政権を樹立。同政権下で大量の自国民虐殺。	
	1979年	ベトナム軍進攻でKR敗走、親ベトナムの「カンプチア人民共和国」(プノンペン(ヘン・サムリン)政権) 擁立。 以降、プノンペン政権とタイ国境地帯拠点の民主カンボジア三派連合(KRの民主カンボジアに王党(シハヌーク)派・共和(ソン・サン)派が合体)の内戦。	
	1991年	パリ和平協定。	
	1992年	国連カンボジア暫定機構(UNTAC)活動開始(1992~93年、日本初の国連PKO参加。)	
	1993年	UNTAC監視下で制憲議会選挙、王党派フンシンベック党勝利。新憲法で王制復活。ラナリット第一首相(フンシンベック党)、フンセン第二首相(人民党:旧プノンペン政権)の2人首相制連立政権。	

1997年	首都プノンペンで両首相陣営武力衝突。ラナリット第一首相失脚。
1998年	第二回国民議会選挙。第一次フン・セン首班連立政権。
1999年	上院新設(二院制へ移行)。ASEAN加盟。
2003年	第三回国民議会選挙。
2004年	第二次フン・セン首班連立政権発足。 シハヌーク国王引退、シハモニ新国王即位。WTO加盟。ASEM参加決定。
2006年	上院議員選挙
2008年	第四回国民議会選挙。第三次フン・セン首班連立政権発足。
2012年	第二回上院選挙。ASEAN議長国。(二回目)
2013年	第五回国民議会選挙。フン・セン首相首班政権発足。
2018年2月	第三回上院選挙。
2018年7月	第六回国民議会選挙。フン・セン首相首班政権発足。

政治

政体	立憲君主制	①
元首	ノロドム・シハモニ国王(2004年10月即位)	①
議会	二院制 上院(全62議席、任期6年、サイ・チュム議長(人民党副党首)) 国民議会(下院)(全125議席、任期5年、ヘン・サムリン議長(人民党名誉党首))	①
政府	首相:フン・セン(人民党党首)	①

地方自治制度

・地方の行政体制について2008年カンボジアの憲法改正により、カンボジアの現在の政治体制は、首都、州、市、郡、区、コミューン、サンカットに区分

・首都・州知事、区・市・郡長はすべて中央政府の内務省職員が任命されるため、国の出先機関としての性質が強い

・コミューン・サンカットでは、住民に選ばれた評議員により運営されており、自治体としての性質が強いものの、内務省の業務を遂行する出先機関としての役目も担っている。

経済																							
主要産業	農業(GDPの25.0%)、工業(GDPの32.7%)、サービス業(GDPの42.3%) (2017年、ADB資料)	①																					
実質経済成長率(%)	<p>経済成長率</p> <table border="1"> <tr><th>年</th><td>2014</td><td>2015</td><td>2016</td><td>2017</td><td>2018</td><td>2019</td></tr> <tr><th>成長率(%)</th><td>7.14</td><td>7.03</td><td>6.86</td><td>6.99</td><td>7.53</td><td>6.97</td></tr> </table>	年	2014	2015	2016	2017	2018	2019	成長率(%)	7.14	7.03	6.86	6.99	7.53	6.97	⑧							
年	2014	2015	2016	2017	2018	2019																	
成長率(%)	7.14	7.03	6.86	6.99	7.53	6.97																	
物価上昇率(%)	<p>物価上昇率</p> <table border="1"> <tr><th>年</th><td>2014</td><td>2015</td><td>2016</td><td>2017</td><td>2018</td><td>2019</td></tr> <tr><th>物価上昇率(%)</th><td>3.85</td><td>1.22</td><td>3.05</td><td>2.9</td><td>2.38</td><td>2.15</td></tr> </table>	年	2014	2015	2016	2017	2018	2019	物価上昇率(%)	3.85	1.22	3.05	2.9	2.38	2.15	⑧							
年	2014	2015	2016	2017	2018	2019																	
物価上昇率(%)	3.85	1.22	3.05	2.9	2.38	2.15																	
名目GDP (一人当たりGDP) (USD)	<p>名目GDP (一人当たりGDP)</p> <table border="1"> <tr><th>年</th><td>2014</td><td>2015</td><td>2016</td><td>2017</td><td>2018</td><td>2019</td></tr> <tr><th>名目GDP (一人当たりGDP) (USD)</th><td>1,093</td><td>1,165</td><td>1,270</td><td>1,385</td><td>1,504</td><td>1,620</td></tr> </table>	年	2014	2015	2016	2017	2018	2019	名目GDP (一人当たりGDP) (USD)	1,093	1,165	1,270	1,385	1,504	1,620	⑧							
年	2014	2015	2016	2017	2018	2019																	
名目GDP (一人当たりGDP) (USD)	1,093	1,165	1,270	1,385	1,504	1,620																	
失業率(%)	<p>失業率</p> <table border="1"> <tr><th>年</th><td>2014</td><td>2015</td><td>2016</td><td>2017</td><td>2018</td><td>2019</td></tr> <tr><th>失業率(%)</th><td>0.702</td><td>0.692</td><td>0.68</td><td>0.66</td><td>0.641</td><td>0.626</td></tr> </table>	年	2014	2015	2016	2017	2018	2019	失業率(%)	0.702	0.692	0.68	0.66	0.641	0.626	⑨							
年	2014	2015	2016	2017	2018	2019																	
失業率(%)	0.702	0.692	0.68	0.66	0.641	0.626																	
総貿易額 (100万USD)	<p>総貿易額</p> <table border="1"> <tr><th>年</th><td>2013年</td><td>2014年</td><td>2015年</td><td>2016年</td><td>2017年</td><td>2018年</td></tr> <tr><th>輸出額</th><td>9,248</td><td>10,262</td><td>11,215</td><td>12,900</td><td>16,113</td><td>19,521</td></tr> <tr><th>輸入額</th><td>9,220</td><td>6,881</td><td>8,577</td><td>10,098</td><td>10,779</td><td>12,198</td></tr> </table>	年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	輸出額	9,248	10,262	11,215	12,900	16,113	19,521	輸入額	9,220	6,881	8,577	10,098	10,779	12,198	②
年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年																	
輸出額	9,248	10,262	11,215	12,900	16,113	19,521																	
輸入額	9,220	6,881	8,577	10,098	10,779	12,198																	
貿易品目	(1) 輸出 衣類・同付属品(64%)、天然ゴム(2.3%) (2) 輸入 織物・製靴その他製造原料(54.1%)、車両等(5.9%)、石油製品(5.5%) ※2017年 カンボジア経済財政省関税消費税総局	②																					
主要貿易相手国	(1) 輸出 米国(21%)、英国(9%)、ドイツ(9%)、日本(8%)、中国(7%) ((注)マカオ、台湾、香港を除く本土のみ) (2) 輸入 中国(37%)、タイ(16%)、ベトナム(12%)、シンガポール(4%)、日本(4%)	①																					

2.日本とのかかわり		出典																					
大使館	プノンペン																						
大使	三上 正裕(2019年9月～)																						
進出企業数	196社(2019年6月時点)	②																					
日系レストラン数	174店舗(2020年現在)	⑪																					
日本企業の投資件数と投資額	投資件数 128件 投資額 23億6,713万ドル(2010～2018年)	②																					
在留邦人数	3,934人(出所:外務省「海外在留邦人数調査統計(令和元年要約版)」)	①																					
在日カンボジア人数	15,163人(2019年6月末現在)	⑩																					
観光																							
訪日旅行者数(万人)	-																						
旅行形態	-																						
貿易																							
日本との貿易 (通関ベース) (100万USD)	<table border="1"> <caption>日本との貿易 (通関ベース)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>日本の輸出 (100万USD)</th> <th>日本の輸入 (100万USD)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2014</td> <td>255</td> <td>776</td> </tr> <tr> <td>2015</td> <td>301</td> <td>968</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>307</td> <td>1,205</td> </tr> <tr> <td>2017</td> <td>357</td> <td>1,261</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>421</td> <td>1,605</td> </tr> <tr> <td>2019</td> <td>562</td> <td>1,731</td> </tr> </tbody> </table>	年	日本の輸出 (100万USD)	日本の輸入 (100万USD)	2014	255	776	2015	301	968	2016	307	1,205	2017	357	1,261	2018	421	1,605	2019	562	1,731	②
年	日本の輸出 (100万USD)	日本の輸入 (100万USD)																					
2014	255	776																					
2015	301	968																					
2016	307	1,205																					
2017	357	1,261																					
2018	421	1,605																					
2019	562	1,731																					
日本の主要輸出入品目	(1)カンボジアへの輸出 一般機械(21.2%)、輸送用機器(18.1%)、食料品(15.8%)、織物用糸・繊維製品(12.9%)、電気機器(10.5%)など (2)カンボジアからの輸入 衣類・同付属品(66.6%)、バッグ類(7.1%)、電気機器(5.0%)など	②																					

3.自治体の活動		出典
自治体交流		
姉妹自治体	2010年 愛知県幸田町 シェムリアップ 2016年 福岡県北九州市 プノンペン(インフラ整備や都市環境の改善に協力するとともにビジネス交流も進める)	
トップセールス等実績 (渡航通知ベース)	2016年 石川県小松市(シェムリアップ州との協定) 2019年 愛媛県(バタンバン州政府との協定締結) 宮城県(王立プノンペン大学学長表敬訪問) 長崎県大村市(JICAプノンペン事務所訪問)	
JET参加者の数(現役)	-	
JETAA支部	-	
クエア関連事業	2006年、2007年 クエア専門家派遣事業 -窯業技術高度化支援- 栃木県窯業技術支援センターからコンボン・チュナン州へ専門家を派遣	

4.その他渡航情報		出典
入出国	入国にあたっては各種ビザが必要。 (注) コロナウイルスを踏まえた最新の状況は大使館HP等で確認してください。	④
旅券の残存期間	出国時6ヶ月以上 (注) コロナウイルスを踏まえた最新の状況は大使館HP等で確認してください	④
日本との時差	-2時間	
祝日(2020年)	1月1日(水) 新年 1月7日(火) 虐殺政権からの解放の日 3月8日(日) 国際女性の日 4月13日(月)～16日(木) クメール正月 5月1日(金) メーデー 5月6日(水) 仏誕節 5月10日(日) 王室始耕際 5月14日(木) シハモニ国王誕生日 6月18日(木) モニク前王妃誕生日 9月16日(水)～18日(金) 孟蘭盆 9月24日(木) 憲法記念日 10月15日(木) ノロドムシハヌーク前国王記念日(命日) 10月29日(水) シハモニ国王即位記念日 10月30日(金)～11月1日(日) 水祭り 11月9日(月) 独立記念日	②
予防接種の必要性	A型肝炎、B型肝炎、破傷風、(狂犬病*1)、(日本脳炎*2) *1: 犬や野生動物との接触が予想される場合は推奨 *2: 農村部に長期滞在する場合は推奨	⑤
気候	熱帯モンスーン気候	⑤
電話の掛け方	国際電話会社の番号+855(国番号)+最初の0を取った電話番号	
電力	220V、50Hz 日本の100V用電気製品を使用するには変圧器が必要	
水道水	水道水は避ける。ミネラルウォーターを飲用した方がよい。	⑤
日本からのフライト時間	直行便で約6時間30分	

【出典】

- ①外務省HP <http://www.mofa.go.jp/mofai/area/cambodia/data.html>
- ②JETRO HP https://www.jetro.go.jp/world/asia/kh/basic_01.html
- ③国立社会保障・人口問題研究所 <https://populationpyramid.net/ja/%E3%82%AB%E3%83%B3%E3%83%9C%E3%82%B8%E3%82%A2/2015/>
- ④ 在日本カンボジア王国大使館 http://www.cambodianembassy.jp/web2/?page_id=424
- ⑤ 厚生労働省検疫所HP http://www.forth.go.jp/destinations/country/vietnam_cambodia.html
- ⑥ CIA HP <https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/cb.html>
- ⑦ 日本銀行HP https://www.boj.or.jp/about/services/tame/tame_rate/syorei/hou2006.htm/
- ⑧ IMF HP https://www.imf.org/external/pubs/ft/weo/2019/02/weodata/weorept.aspx?pr.x=31&pr.y=13&sy=2012&ey=2020&scsm=1&ssd=1&sort=country&ds=.&br=1&c=522&s=NGDP_RPC
- ⑨ 世界銀行 HP <https://data.worldbank.org/indicator/SL.UEM.TOTL.ZS?locations=LA>
- ⑩ 法務省HP http://www.moj.go.jp/housei/toukei/toukei_ichiran_touroku.html
- ⑪ 外務省調べ、農水省推計値を参考にJ.CLAIRシンガポールが推計